

アルコールチェッカーの反応例と対策

1. 飲酒されていない場合でも検知される事がございます。運用面で回避をお願いいたします。なお、検知の程度には個人差がございました。

分類	対象物	主な例	運用上の対策
食品	パン類	食パン、菓子パン	水でうがいをしてから、15分以上経過後に測定する
	味噌汁	味噌	
	納豆		
	ガム、飴類		2~3時間影響が続くこともあり、測定前は控える
	味噌のタレ	味噌	
	キムチ		
飲料	コーヒー類		水でうがいをしてから、15分以上経過後に測定する
	紅茶類		
	ジュース類	カルピス、オレンジ	
	栄養ドリンク	オロナミンC	
	スポーツドリンク		
喫煙	タバコ		
その他	口臭剤	オーラ2	水でうがいをしてから、30分以上経過後に測定する
	洗口剤	モンダミン	
	歯磨き粉	GUM	
	入れ歯安定剤	クッションコレクト	
	うがい薬	イソジン	
	のどスプレー		

2. 次の例では、非常に稀ではございますが、飲酒されていない場合でも検知する場合がございます。たいへん申し訳ございませんが、特別な運用方法でご対応いただきますよう宜しくお願いいたします。

主な症状	備考
高血圧症	病気を患われている場合、また、その薬の服用により、アルコールチェッカーが反応する可能性のある物質が呼気に多く含まれる場合があります。非常に稀ではありますが、飲酒されていない場合でも検知してしまう場合がございます。この場合は、アルコールチェッカーの使用が難しいため、別の特別な方法による運用のご検討をお願いいたします。
心臓病	
糖尿病	
肝機能障害	
アレルギー性	
体調が悪い場合	個人差はありますが、稀に反応する場合があります。体調管理が重要となります。
特有の呼気	呼気には個人差があり、稀に反応する呼気をお持ちの方がいらっしゃいます。